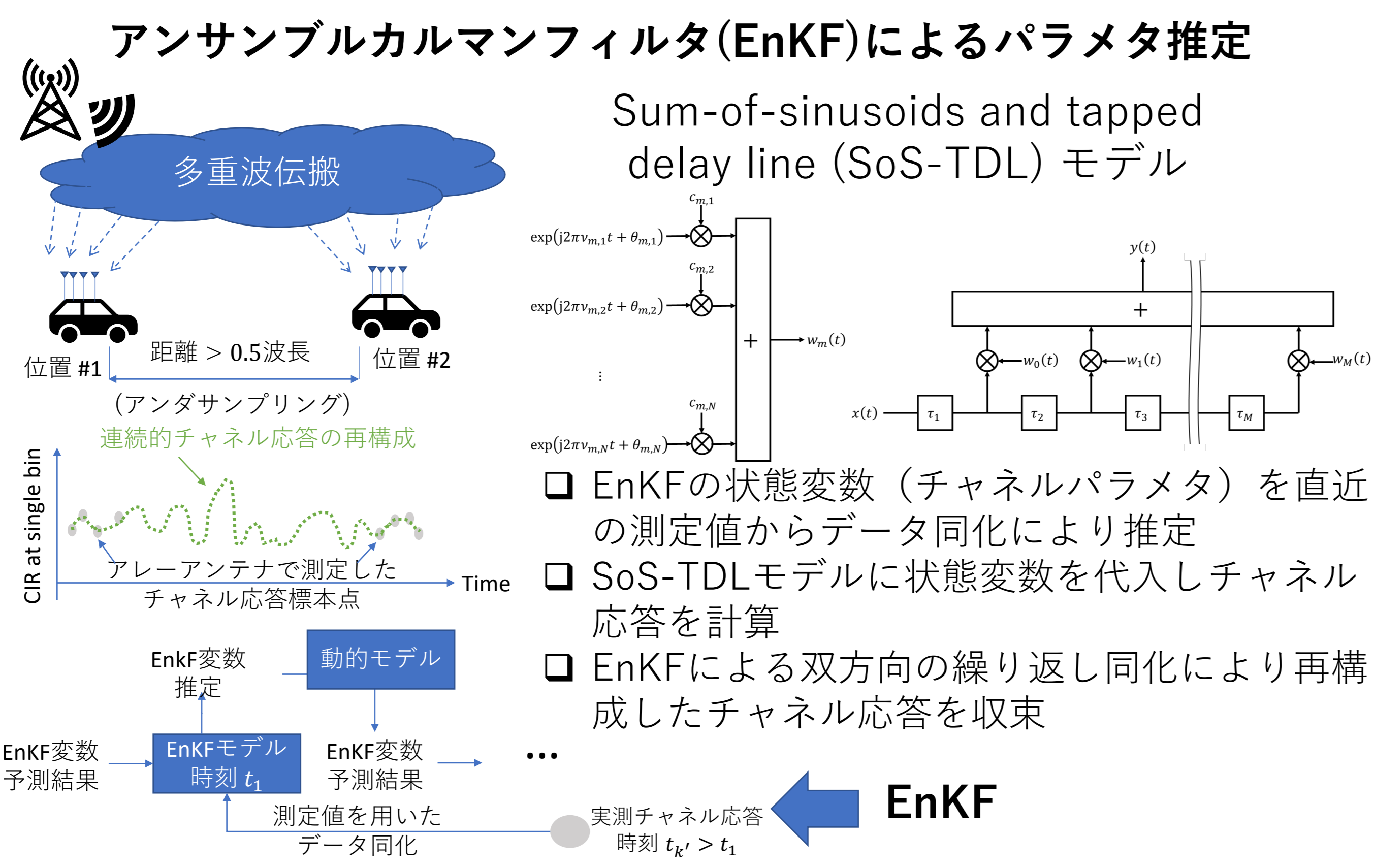


技術課題ア – ①サブテーマ(1)

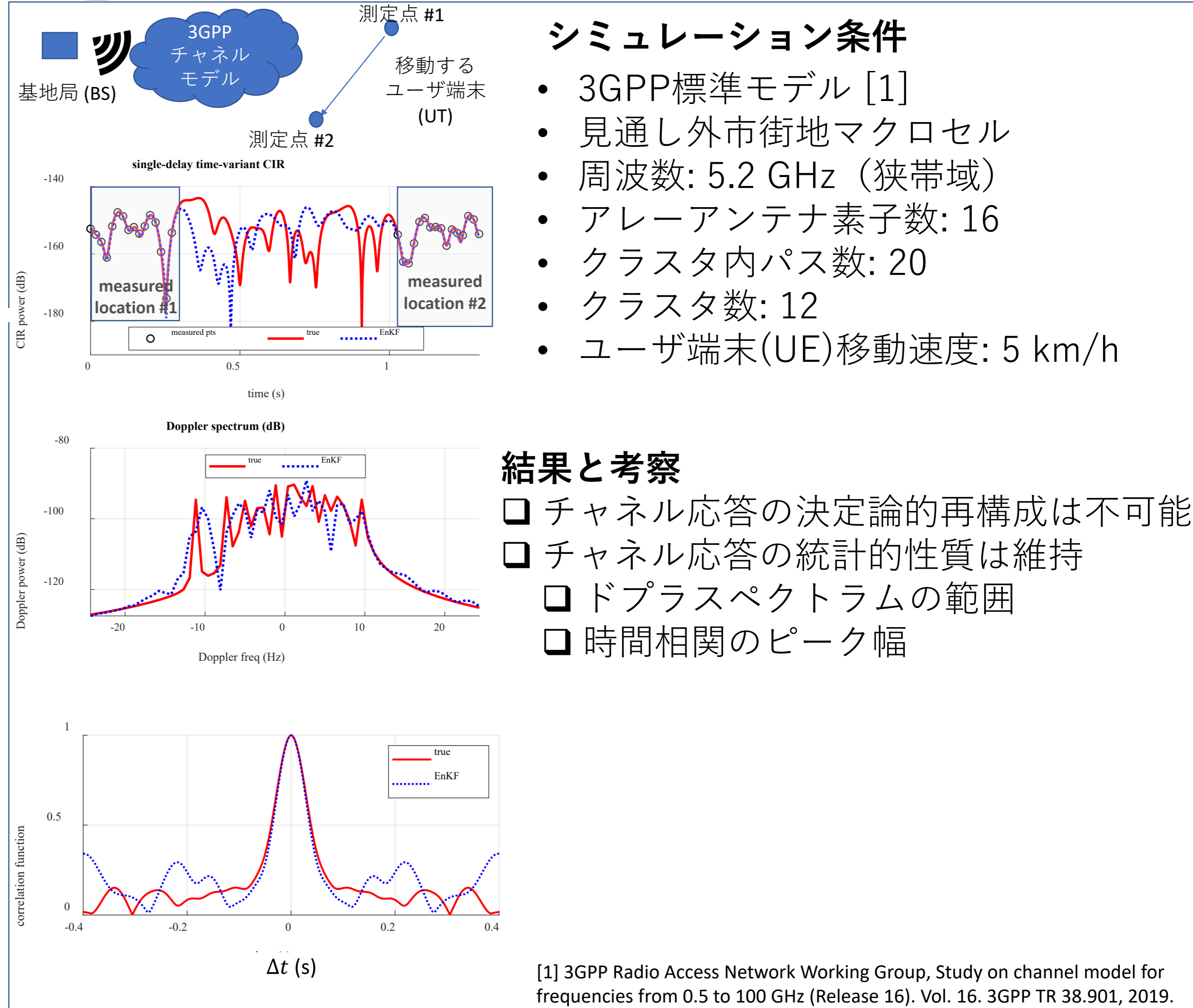
実測値に基づくシナリオ固有の電波伝搬特性の構成技術

研究開発内容

電波伝搬測定で取得されるチャンネル応答（ストアドチャンネル）は、その測定原理上、電波模擬システムを実時間で稼働するために必要となる時間的・空間的に連続したデータではなく、その粗い標本値である。連続的なチャンネル応答を再構成するために、汎用のチャンネルモデルであるSoS-TDLモデルのパラメータを実測値から推定し、モデル化を行うことを検討している。



研究開発成果<実績>

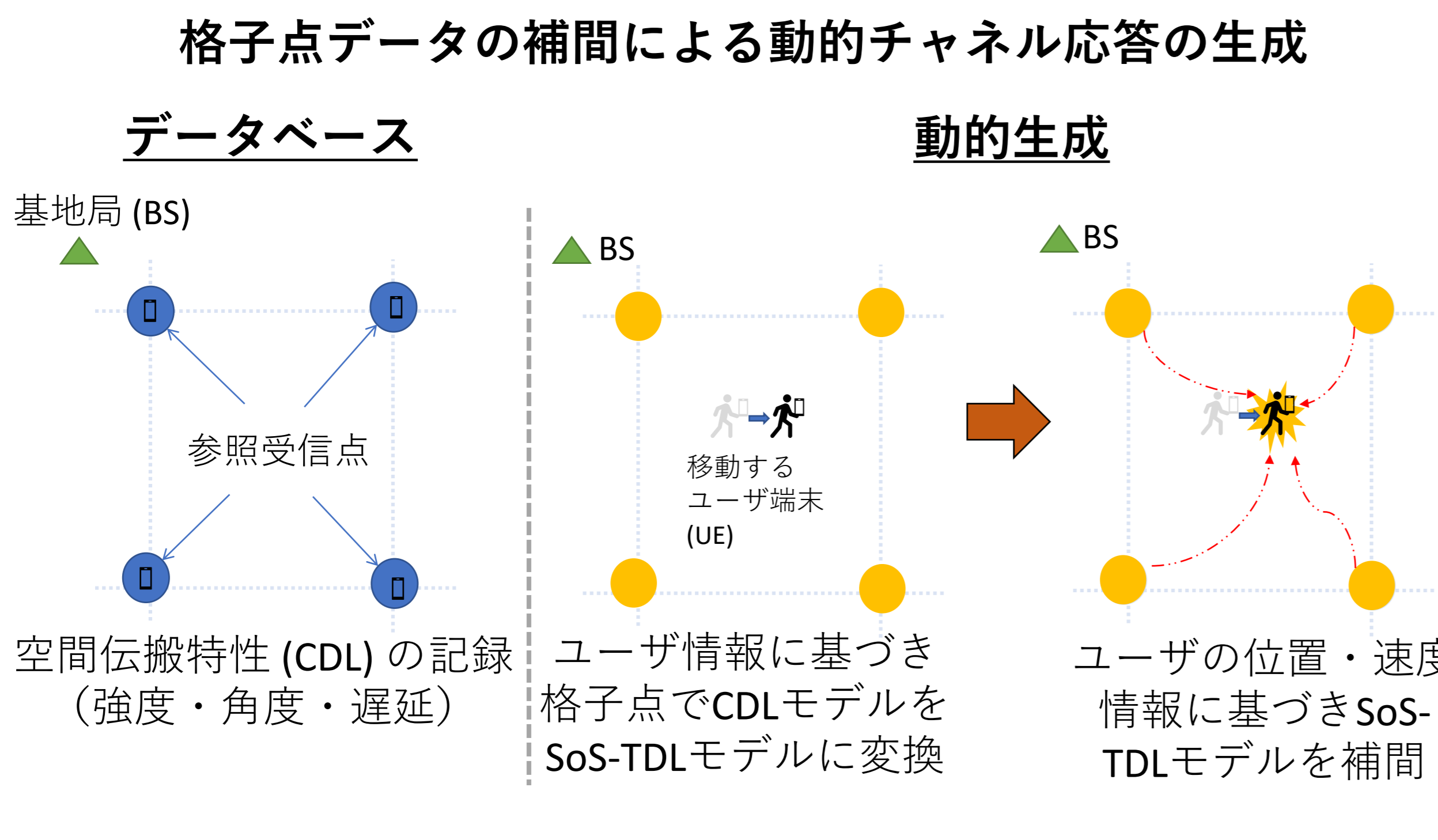


技術課題ア – ①サブテーマ(2)

解析レイヤ合成による電波伝搬特性の構成技術

研究開発内容

- 伝搬モデルレイヤおよびレイトレーシングレイヤの切り替え、ストアドチャンネルデータの併用
- チャンネル特性の事前計算・保存の必要性
- 格子点における伝搬モデルパラメータの紐付け
- 位置・方向・速度に基づき格子点の補間により動的チャンネルを生成



研究開発成果<実績>

